

風水害と新型コロナウイルス感染症

大雨による災害の多くは、これからの梅雨の時期や台風シーズンにかけて、狭い範囲に短時間の強い雨が集中して降ることにより発生します。

また、災害が発生し避難所を開設した場合において、新型コロナウイルスのクラスター（集団）の発生の原因となる、密集・密閉・密接（3つの密）の状況が発生する恐れがあります。

「避難」と新型コロナウイルス感染症

- (1) 「避難」とは「難」を「避」けることであり、**自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。** 本当に避難場所に行く必要のある方を、適切に受け入れられるようにご協力ください。
- (2) 自宅が危険な場合も、安全な親戚・知人宅等を頼って、相談してみましょう。
(避難する場合、近隣の住民や町内会長に伝えておくことを忘れずに)
- (3) 自宅が危険な場合や、親戚や知人宅等への避難が無理でも、車をお持ちの方は、車内への避難の方法も有効です。しかし、車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等の確認とエコノミークラス症候群に注意してください。

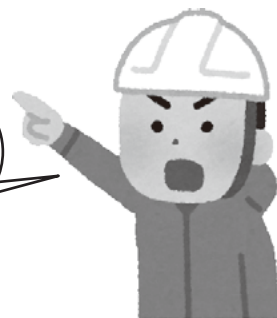
※上記の避難ができない方は、避難所へ逃げるようにしましょう。避難するタイミングは災害発生の危険度と住民の方々が取るべき行動の、5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

市役所からの避難行動呼びかけ

次のような内容で市役所から避難行動を呼びかけます。

- ・エリアメール、緊急速報メール
- ・防災行政無線
- ・市ホームページ、市公式facebook

レベル5はすでに
災害が起きています！
すぐに避難を！



「警戒レベル」で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月)より、
「警戒レベル」を用いた
避難情報が発令されています。
市町村から「警戒レベル③、④」が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。

